

授業科目 医療福祉コミュニケーション論

【担当教員名】 高橋 直樹	対象学年	2	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：GI0】 医療福祉における問題の一つに、医療福祉に携わる側と対象者の側とのコミュニケーション不足が指摘されている。医療福祉分野に関わる者は全て、人と人との間の望ましい関係を築き、円滑なコミュニケーションをおこなうことが重要である。では、コミュニケーションというとき、具体的に、何をどうすれば良いのか。この講義を通じて、受講生と共に考えていきたいと思う。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ケア・コミュニケーションの基本的な心構えについて理解し、説明できる。 2. 被援助者との関係を築くコミュニケーションについて理解し、説明できる。 3. 被援助者の理解と情報の交換、行動化の支援について理解し、説明できる。 4. チームワークとコミュニケーションについて理解し、説明できる。 5. その人らしさを大切にすることをコミュニケーションについて理解し、説明できる。 				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	医療や介護におけるコミュニケーションを考える視点	1	講義・演習	
2	医療や介護におけるコミュニケーションの役割	1	講義・演習	
3	好感・信頼感を高めるコミュニケーション（1）	2	講義・演習	
4	好感・信頼感を高めるコミュニケーション（2）	2	講義・演習	
5	敬意を伝えるコミュニケーション	2	講義・演習	
6	相手を受容し、共感する	3	講義・演習	
7	苦情やクレームに対応する	3	講義・演習	
8	わかりやすく説明し、同意を確認する	3	講義・演習	
9	主体的な選択や行動を引き出す	3	講義・演習	
10	チームの一員として仕事を進める	4	講義・演習	
11	建設的でさわやかに対話する	4	講義・演習	
12	視聴覚言語障害を持つ被援助者とのコミュニケーション	5	講義・演習	
13	認知症の被援助者とのコミュニケーション	5	講義・演習	
14	人生の最期を迎える被援助者とのコミュニケーション	5	講義・演習	
15	復習と総まとめ	1, 2, 3, 4, 5	講義・演習	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ケア・コミュニケーション	麻生塾ケア・コミュニケーショ	株式会社 ウイネット	2007・2,000円+税
	ケア・コミュニケーション 問題集	サーティファイ コミュニ ケーション能力認定委員会	株式会社 ファイ	サーティ 2008・1,500円+税
参考書				
その他の資料				
【評価方法】		【履修上の留意点】		
(1) 出席状況。		(1) 教科書は毎回持参してください。		
(2) 受講態度。		(2) 受講生の座席を指定します。		
(3) ケア・コミュニケーション検定における 得点。 以上の3点で評価します。		(3) 受講態度が悪い場合は減点になります。		
		(4) 別途、ケア・コミュニケーション検定の受験料（4,500円）がかかります。		